



下商物語

来校者のほなし

本校教諭 林 俊行

今回は、過去本校に来校（視察・講演等）された著名な方々を紹介したいと思えます。中には歴史上有名な方々が来校され貴重な講演や模範演技をされた記録があります。当時の方々の改めて本校に対する思いが感じられます。

来校日 来校者名 主な経歴

明治十七年 井上 馨 (1839-1915) 政治家、外相、蔵相

明治二十年二月二十八日 森 有礼 (1847-1886) 初代文部大臣

明治三十五年三月 山形 有朋 (1838-1922) 第三・九代内閣総理大臣

明治四十年十二月九日 伊藤 博文 (1841-1909) 初代・五代・七代・十代内閣総理大臣、初代韓国統監 *歓迎記念運動会参観

明治四十年 志賀 重昂 (1831-1901) 地理学者、ジャーナリスト

明治四十一年 巖谷 小波 (1870-1938) 童話作家、小説家、硯友社

明治四十二年十二月二日 小松原 英太郎 (1863-1919) 文部大臣 (元国学院、拓殖大学学長)

明治四十三年十月一日 常陸山 谷右エ門 (1874-1922) 第十九代横綱 (土俵開き)

明治四十三年三月 慶応義塾大学教授 師団 (四名) による講演

明治四十三年四月 早稲田大学教授 師団 (四名) による講演 ※高田 早苗 (1860-1936) 政治家、教育家、早大総長

明治四十四年五月十三日 北里 柴三郎 (1833-1931) 日本細菌学の父 ベスト菌発見者 講演「満州に発生するベストに関して」

大正二年四月二十五日 白瀬 中

大正二年十一月八日 大隈 重信 (1838-1922) 第八・十七代内閣総理大臣

講演「海外に発展せよ」※市内の学生が講演場所に行く

大正三年六月四日 渋沢 栄一 (1839-1931) 我が国の資本主義・商業の父

講演「志那視察談」

大正五年二月十四日 金栗 四三 (1861-1933) オリンピックマラソン選手

講演・実習「徒歩競争に関して」

昭和十年五月十九日 松田 源治 文部大臣 創立五十周年記念講堂落成式

昭和二十七年十月三十一日 森戸辰男 (1881-1966) 文部大臣 (初代広島大学学長) 講演「人生航路としての高校生活」

昭和二十九年十月二十二日 ジョージ・ルイカ、丹下きよ子

※創立七十周年記念行事での電報クイズ公開収録 (講堂にて)

昭和三十年二月十八日 高瀬 莊太郎 (1892-1966) 文部大臣、会計学者

講演「戦争と平和と愛国心」

昭和三十七年十月一日 出光 佐三 (1885-1981) 出光興産社長

講演「人間尊重について」

昭和三十九年十月十七日 徳永 清正 同志社大学教授 (本校卒業生)

講演「日本より日本」

昭和四十七年十月十七日 日本体育大学器械体操部 監督・選手 賢物水三、岡村輝一、藤本俊、羽生和水、平島栄子 (五輪選手)

体育館落成 柿落し模範演技

昭和四十九年八月二十二日 新日 鉄八幡製鉄所水泳部

五輪選手 藤本憲次、島添準二、山本憲子、ブル完成 柿落し模範水泳

昭和四十九年十月十七日 菊一 岩夫 大和証券社長 (本校卒業生)

講演「若人の心構え」

昭和五十九年十月二十日 勝部 領樹 (1931-2018) NHKニュースキヤスター

講演「世界の中で日本を考える」 創立百周年記念講演 下関市民会館にて

特に、明治・大正期の来校者は時の内閣総理大臣や文部大臣など我が国の要職を担当された方々による訪問が多く、いかに本校が注目されていたかが窺えます。おそらく当時の学校関係者 (学校長等) の幅広い人脈で来校され視察・講演をされたのではと思われ

ます。因みに創立百周年以降の昭和後期から平成期にかけては (下商物語第九話 創立記念日のはなし参照) 卒業生中心に来校・講演され、会社経営者、プロ野球界の審判長、大学の教授、下関市長など各界で活躍された方々が在校生に向けて熱く語っておられたことを思い出します。現在NHK大河ドラマの主役「渋沢栄一氏」も海外旅行から帰国され体調を崩されながらも本校に立ち寄り生徒に向けて講演された記録が当時の千

豊原に掲載されています。このことから我が国の商業界の第一人者も本校を一目置いておられたことが分かります。

わが国を代表する超一流の方々から直接貴重な話しや演技を見聞きして、将来の自分の進むべき道を考え歩んだ卒業生も結構おられたのではと拝察します。